

先輩職員に質問してみました！ Vol.1

木本 拓也

広島法務局会計課(入局5年目)



法務局を志望した理由は？

私が就職活動を行っていた年には、西日本豪雨災害が発生し、私の地元も土砂災害により被害を受けました。被害を受けた地区に住んでいる方の中には、土砂の流出や流入により、建物や塀など目印になるものが流され、自身の所有する土地の場所が分からなくなってしまったとお困りの方もいらっしゃいました。そんな中、法務局に正しく登記をしておけば、災害復旧にも役立つことを知り、すごいなと思うと同時に、そのような知識を身に付けたいと思ったことが志望のきっかけとなりました。

現在の仕事内容や職場の雰囲気は？

会計課において、広島法務局で使用する物品のうち、特に事務用品や各種用紙等の調達、管理などを行っています。会計事務では、国の予算を適正に執行するため、法律によって、調達や管理等の方法が定められています。法律を遵守して、物品の調達を行うため、分からないことや自分で決められないことがあれば、すぐに上司に相談するようにしています。法務局には、親切に教えてくださったり、一緒に考えてくださる職員が多いため、日々の業務で大変助かっています。



やりがいを感じる瞬間は？

昨今の法務局では、毎年のように新規施策が実施されています。会計課としては、その施策の実施のため、期限までに、必要な物品を必要な数量、適正に調達しなければなりません。そのため、どのような方法で、いつまでに何をするかをスケジュール立てて実行していきます。結果、滞りなく新規施策が実施され、現場から「ありがとう」と言っていただけで数か月の苦労が実り、やりがいを感じる瞬間です。

休日の過ごし方は？

車が好きで、乗ること、運転すること、修理すること、見ることなど、ジャンルを問わず楽しんでます。大体は、実家まで運転し、それから少しいじることが多いです。

また、野球観戦も好きで、仕事終わりに夕食をとりつつ、中継を観戦することがシーズン中の楽しみです。



法務局に興味を持っている方へのメッセージ

法務局は、私のように法律の勉強を全くしてこなかった人でも問題なく働ける職場です。それは、研修がとても充実していることに加え、同僚職員が必ず助けてくれるためです。少しでも法務局の業務に興味を持っている方は、ぜひ志望してみてください。きっと、法務局職員が温かく迎えてくれると思います。皆様と一緒に仕事をできることを楽しみにしています。

先輩職員に質問してみました！ Vol.2

立川 美咲

広島法務局民事行政部不動産登記部門
(入局9年目)



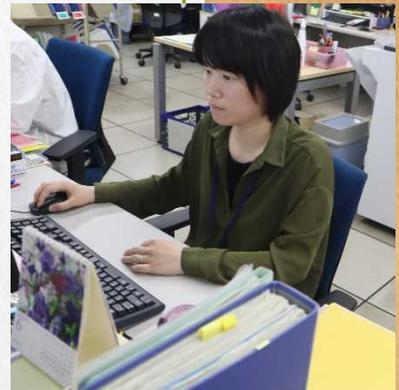
法務局を志望した理由は？

私は法学部出身ではなかったのですが、公務員試験の勉強で法律に初めて触れて興味を持ち、法律に携われるような仕事をしたいと思い法務局を志望しました。法務局は業務内容が幅広く登記、戸籍、供託、人権、訟務などと多岐にわたり、そのどれもが国民生活に密接に関わっていることと、研修制度がとても充実していることが魅力的でした。

現在の仕事内容や職場の雰囲気は？

不動産登記部門で法定相続情報証明制度の係を担当しています。法定相続情報証明制度とは、相続手続に必要な戸除籍謄本の束に代えて法定相続人を特定した法定相続情報一覧図を発行するという制度です。自分が戸籍内容等を確認し発行した一覧図が金融機関や税務署での相続手続に利用されるので、緊張感を持って業務に取り組んでいます。

また、私は子どもが小さいため育児時間制度を利用し、朝は30分遅く出勤し、夕方は1時間早く退庁する時短勤務をさせてもらっています。職場の皆さんには御迷惑をお掛けしていますが、快く受け入れてもらっている温かい雰囲気の職場です。



やりがいを感じる瞬間は？

法務局は業務内容が多岐にわたり2～3年で部署異動があるので、覚えることが多くて大変な反面、自分の知識がどんどん増えていくので成長を感じることができます。初めは一人でできなかったことができるようになったり、お客様から質問されて上手く回答でき感謝されたりするときには大きなやりがいを感じます。

休日の過ごし方は？

子どもが1歳過ぎなのですが、平日はどうしてもバタバタしてしまって、ゆっくり遊ぶ時間がとれないので、休日は子どもと遊んで過ごすことが多いです。最近は歩けるようになって外へ行くのが大好きなので、公園を散策したりボールを使って遊んだりしています。仕事と育児の両立は大変ですが、こうして一緒に遊ぶことで癒やされて仕事に向かうエネルギーになっています。



法務局に興味を持っている方へのメッセージ

法務局は国民生活に密接に関わる様々な仕事に携われるだけでなく、ワークライフバランスに関わる制度も充実しているので、子育てをしながらでも働きやすい職場だと思います。少しでも法務局に興味をお持ちの方は、是非、業務説明会や官庁訪問にお越しください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

先輩職員に質問してみました！ Vol.3

山下 峻

広島法務局訟務部民事訟務部門(入局2年目)



法務局を志望した理由は？

大学時代は法学部に在籍しており、そこで学んだ知識がいかせる仕事に就きたいという思いがきっかけで法務局に興味を持ちました。業務説明会や官庁訪問に参加する中で、出生から相続まで、国民の生活に密接に関連した業務に携われることや職員の方の人の良さに魅力を感じたため、法務局を志望しました。

また、研修制度が充実していたことも決め手の一つです。

現在の仕事内容や職場の雰囲気は？

国が当事者となる事件の訴訟代理人として、主張書面の作成や期日対応等を行っています。他の行政機関とやりとりをすることが多く、窓口となりスケジュール調整等をすることも重要な業務の一つです。

職場はメリハリがあり、時折笑い声が聞こえてくるような和やかな雰囲気です。上司の方からコミュニケーションを取ってくださり、仕事外のことも相談させてもらっています。また、定時退庁及び休暇取得が推奨されており、ワークライフバランスが充実していますので、とても働きやすい環境です。



やりがいを感じる瞬間は？

実際に法廷に立って期日対応を行うことや法曹資格の方と一緒に仕事ができることは訟務部特有の貴重な経験だと思いますし、大きなやりがいを感じます。

事件ごとに分野が異なり、専門性が高いため、最初は分からないことだらけですが、上司や法曹資格の方から御指導いただきながら主張書面を作成していく中で、できることが増えると、自分の成長を実感でき、達成感があります。

また、その成果が判決という結果に表れるのも訟務ならではのやりがいであると思います。

休日の過ごし方は？

大学から始めたテニスをする人が多いです。平日はデスクワークがほとんどですので、凝り固まった体を思う存分動かした後、疲れた体を温泉・サウナで癒やして完全リフレッシュです！

また、職場の先輩や同期、後輩とは花見やBBQ等をすることもあり、プライベートでも仲良くしてもらっています。

ちなみに法務局では、登山等のレクリエーションが企画されたり、部活(テニス、野球)が定期的に活動していますので、所属や職場の垣根を越えて親睦を深められます。

法務局に興味を持っている方へのメッセージ

幅広い業務内容はもちろんですが、法務局の最大の魅力は「人」であると思います。法務局と聞くと、堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、優しく指導してくださる上司の方や頼りになる先輩ばかりで、風通しの良い職場環境ですので、ぜひ業務説明会等に参加して体感してみてください。

皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています。



先輩職員に質問してみました！ Vol.4

桑田 青空

広島法務局人権擁護部第二課(入局1年目)

法務局を志望した理由は？

大学の授業を通して人権問題に関心を持ち、自分に何かできることはないか、と考えていたところ、法務局では人権擁護事務に関わることができることを知ったのがきっかけです。その後説明会に参加し、国の機関でありながら、窓口業務も多く、様々な立場の人と関わることができる点に魅力を感じ、志望しました。また、業務説明会や採用試験の際に対応して下さった職員の方々の雰囲気よかったです。決め手の一つです。



現在の仕事内容は？

私が所属する人権擁護部第二課では、主に人権相談業務と人権救済業務を行っています。人権に関する相談は、電話のみならず、SNSやメール、こどもを対象とした「こどもの人権SOSミニレター」等も多数寄せられます。重大な人権侵犯事件となれば、関係者への調査を行い、侵害を受けた人を救済できるよう取り組んでいます。相談内容は多岐にわたり、決まった回答がないため、頭を悩ませることも多々ありますが、相談者の方から感謝の言葉や前向きな言葉をいただけたときは、やりがいを感じます。



法務局に入局して感じたことは？

想像以上に明るくて、思いやりに満ちた温かい職場だなと感じています。困ったことがあれば上司や先輩方が気にかけてくださり、何でも相談しやすい環境です。さらに、チームで考えることも多く、協力しあう雰囲気があふれているため、業務に対する不安はありません。まだ入局して間もないですが、その間にも多様な考え方や価値観に触れ、視野を広げたり知識を得たりすることができ、充実した環境の中で働いていると実感しています。

休日の過ごし方は？

休日は料理や、楽器の練習をしたり、カフェでゆっくりして過ごしています。また、年次休暇を利用して友人と旅行に出掛けることもあり、美味しい食べ物や綺麗な景色を楽しんでリフレッシュしています。法務局ではワークライフバランスが推進されており、趣味の時間を十分に確保できるため、充実した毎日を送ることができています。



法務局に興味を持っている方へのメッセージ

法務局の仕事は専門性が高く多岐にわたるため、自己研さんが必要だと感じますが、だからこそ新たな知識を身に付ける楽しみも多く、自分の成長を実感できると思います。上司や先輩方の優しいサポートや、充実した研修制度のお陰で、法学部出身でない私でも、安心して楽しく働くことができています。

法務局の魅力はまだたくさんありますので、雰囲気を感じていただくためにも、是非業務説明会に足を運んでみてください。皆様とお会いできる日を楽しみにしています！